

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(真田KOA株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (異などの取得証拠があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別・年齢・障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			「人権労働方針」を発行し、本文中で採用、評価について「人種・肌の色・信条・性別・宗教・国籍・疾病に係らず」実施すると宣言している。 また、内部通報制度を設け、適宜対応をしている。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			「人権労働方針」就業規則の中で、「(2)非人道的扱いの禁止」項目を設け、「各種ハラスメントや性的虐待、体罰、身体又は精神的抑圧、言葉による虐待等の嫌がらせや脅威をはじめとする過酷で非人道的な扱いを許しません」と宣言している。 また、内部通報制度を設け、適宜対応をしている。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			労働組合との協定を締結し、労働基準監督署にて提出。 36協定の順守状況は半期に1度社内会議でレビュー実施。監査役監査で年1回監査実施。									8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			「人権労働方針」を発行し、本文中で採用、評価について「人種・肌の色・信条・性別・宗教・国籍・疾病に係らず」実施すると宣言している。 また、内部通報制度を設け、適宜対応をしている。				4.4					8.7 8.8	10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			安全衛生委員会を設置し、さらに部会制で安全部会、衛生部会を設置。安全/パトロール、衛生/パトロールの結果を踏まえ毎月の安全衛生委員会では正・フォローアップを実施している。			3						8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			ストレスチェックや各地区人材会議の結果を踏まえ、メンタルヘルスマネジメントを実施している。 健康相談員による全社員への面談を実施している。			3															
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			「人権労働方針」を発行し、本文中で採用、評価について「人種・肌の色・信条・性別・宗教・国籍・疾病に係らず」実施すると宣言している。(車椅子用駐車スペースの設置、おもしろい駐車場の設置、車椅子用のトイレの設置、外国人・高齢者雇用の実施、障害者雇用促進法への対応など)					5.1 5.5				8.5	10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			教育管理規定に基づく、教育機会を提供している。				4	5.5				8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			基本処遇規程/人事評価規程に基づき評価し給与支給している。					5.5				8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			安全衛生委員会の下部組織に衛生部会があり社員の健康の取り組みを目標にしており運動不足の解消や管理者教育などを実施している。			3						8									
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			KOS-環作-2003 排出物の管理責任分担の作業手順書に基づいて、適切な管理・処理を実施している。											11.6 12.4		14.1					
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			KOS-環作-0055 おてんとうさま計画実行書の運用・監視の作業手順書に基づいて、エネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している。(環境情報管理システム)								7.3					13					
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			KOS-環作-0055 おてんとうさま計画実行書の運用・監視の作業手順書に基づいて、排出の抑制に取り組んでいる。									7.2 7.3				12.4	13.3				
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			使用材料調査票や化学物質のリスクアセスメントにより、有害化学物質を把握と、適切な使用に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4						

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) 【非該当】を選択した場合こちらには理由記載	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			「環境方針」を発行し、本文中の理念で生物多様性について言及し、配慮している。									6.6									15					
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			KOS-環作-2003 排出物の管理責任分担の作業手順書に基づいて、取り組んでいる。														12.5		14.1							
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			毎日、使用している水量を監視をしている、水量に変化があった場合は因果関係を確認している。また、前年度の水量を比較対象として管理値を設定している。									6.4 6.6														
18	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			ISO14001(2000年2月より)を取得している。					3.9			6	7						12	13.3	14	15					
19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			弊社ホームページにて、環境方針・SDGsに関する取組を掲載している。															12.6								
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			信州Greenでんきの購入により、再生可能エネルギー100%となっている。									7.2							13							
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			「環境方針」を発行し、本文中の方針で、言及し(有限な資源の有効利用)取り組んでいる。																12.2	13	14	15				
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			KOAグループ行動指針に基づき、本文中の5項(4)会社資産の適切な使用、6項(2)政治・行政との関係を掲げ、周知している。																		16	16.5				
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			KOAグループ行動指針に基づき、本文中の2項(4)私的独占及び不公正取引の禁止を掲げ、周知している。																			16				
24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			KOAグループ行動指針に基づき、本文中の5項(6)知的財産の保護に取り組んでいる。												8.2 8.3	9										
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			個人番号及び特定個人情報取扱規程(KOS-管-6061)に基づいて取り扱っている。またKOAグループ行動指針に基づき、本文中の4項(3)プライバシー保護の取り扱いに基づいて管理している。																			16				
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			調達方針<責任ある鉱物調達に関する基本方針>に基づき、OECDデューデリジェンスガイドラインの趣旨に沿った責任ある鉱物調達活動を行い、錫、タンタル、タングステン、金、コバルトなど、紛争地域および高リスク地域で産出された紛争や人権侵害に関わる鉱物を使用していません。																				16			
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			取引先管理マニュアル「付属書6 CSR・RBA推進について」にてSDGs達成に向けた活動の一環としてRBA行動規範をお取引先様へ展開・推進している。(定期評価ならびに監査を含む)						5				8					10			12	13	14	15	16	17
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	100%株主の親会社であるKOA株式会社が宣言済み親会社と協調し必要に応じて宣言実施を検討中						3						8	9	10							17		

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
 （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
 - 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
 - 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定